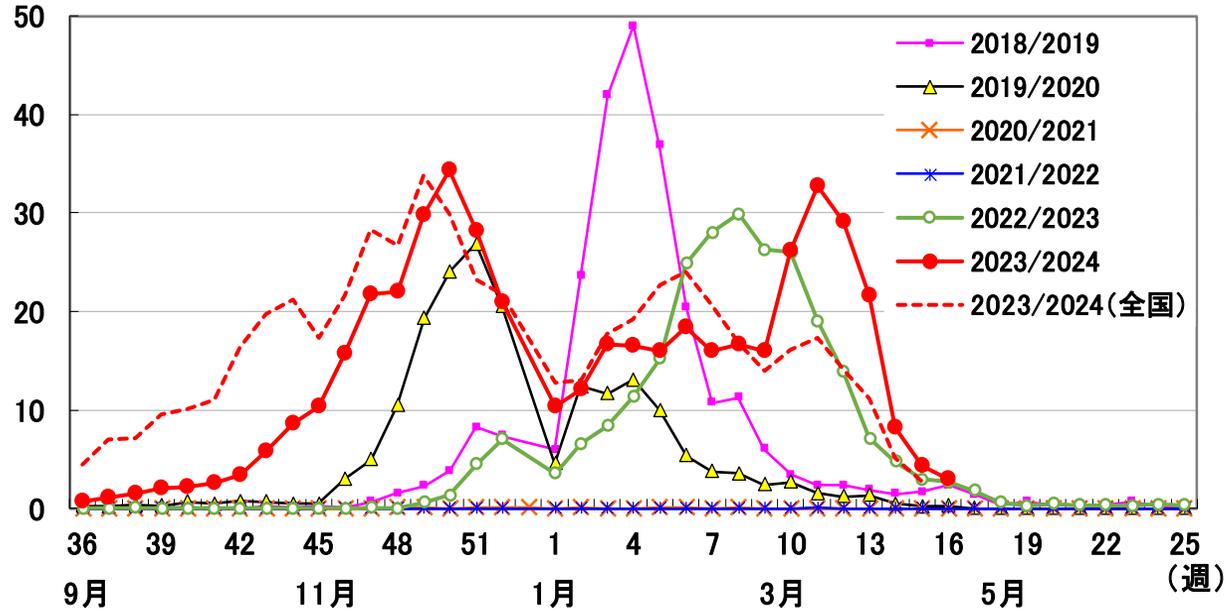


# インフルエンザの発生状況(富山県)

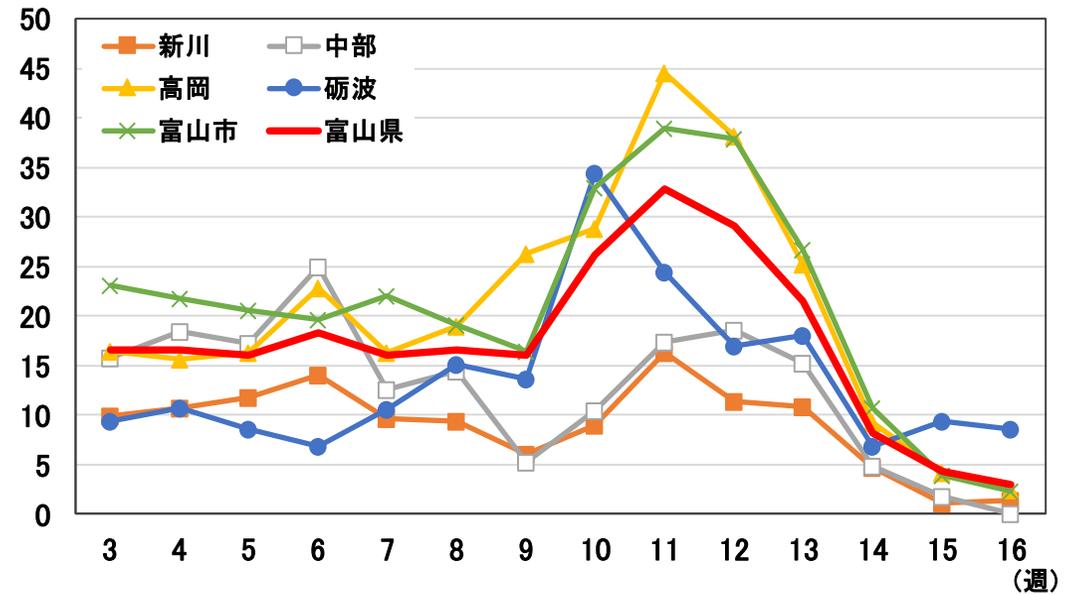
【第16週(2024/4/15~4/21) 感染症発生動向調査速報値 (2024/4/24時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第16週) **2.93**人/定点となり、先週(4.24人/定点)から減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、全ての管内で先週と比較して減少または横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第16週)

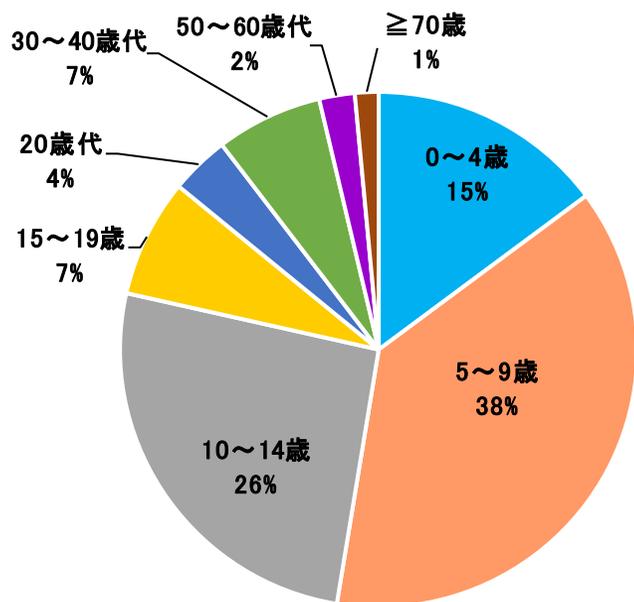
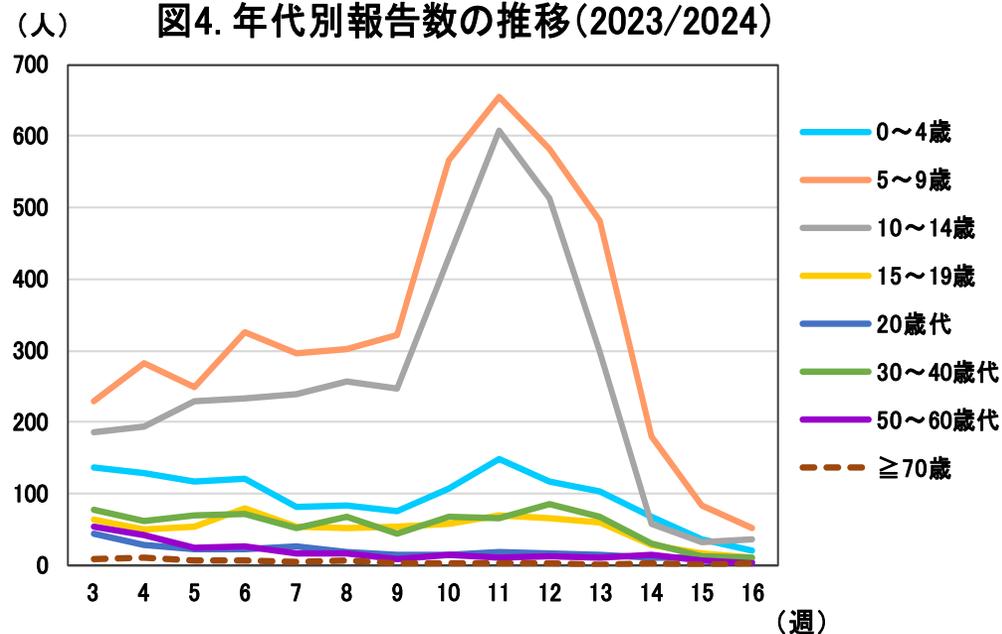


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第16週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が79%を占め、先週（76%）からやや増加した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代において先週と比較して減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第16週に小学校1件の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第15週)

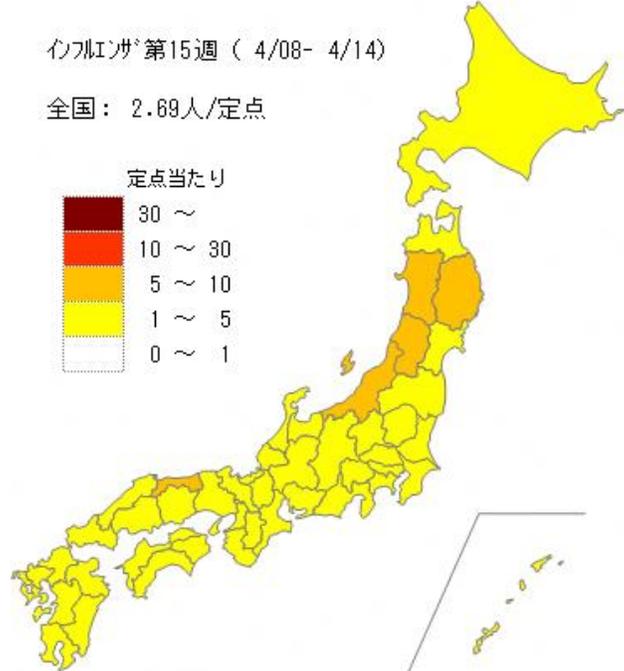
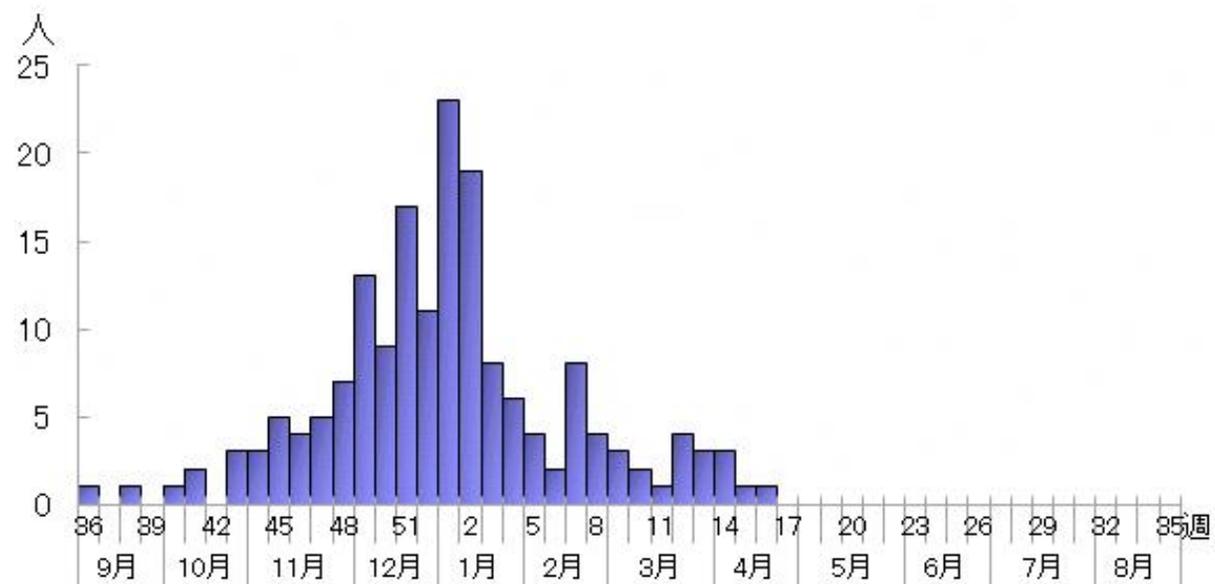


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第16週)



- 全国では第15週に2.69人/定点となり、第14週 (5.09) から減少した。都道府県別 (図5) では、注意報レベルの目安である10人/定点を超える都道府県はなかった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図6) では、第16週に1例 (10歳未満) の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は第11週をピークに減少が継続している。また、B型の検出割合は今週85.9%と、先週 (86.2%) と同程度であった ([富山県感染症発生動向速報2024年第16週](#))。引き続き今後の発生動向の経過を追いたい。